奨学生の皆さんへ

令和5年1月11日

黒田奨学会理事長　　伊達　健太郎

明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのことと存じます。

後期の試験を前に準備で忙しい時期でしょう。卒業を前に卒業論文や修士論文、博士論文の仕上げに取り組んでおられる皆さんもおられることでしょう。身体を壊さない程度に頑張って成果を上げて下さい。

さて当奨学会は、令和4年度より学術振興に寄与する研究テーマを有する者に対する研究費の助成、海外留学に対する費用助成の制度を設けておりますが、申請が低調です。

　特に海外留学については、コロナ感染を恐れていては諸外国の研究との格差が開くばかりです。予防手段を講じたうえでウィズコロナとして研究に取り組む時期に来ているのではないでしょうか。もちろん海外での研究の必要性がない場合にまで助成できませんが、近年我が国の学術論文数や特許の出願数の国際比較の数に照らすと、まだまだ海外留学で得られるものはあると思われます。

　特定テーマに対する研究助成についても、それなりの申請の必要性はアピールして頂かなくてはなりませんが、ある程度の研究成果が見込まれる場合、可能な範囲で助成を行いたいと思います。

　有望な研究テーマを温めている人、海外での研究に取り組む計画がある人は、「奨学生としての心得」を参照されたうえでとりあえずその概要をお知らせください。

　現在奨学会では現在令和5年度の奨学生の採用準備に追われておりますが、皆さんを採用したときと同様に学問を志し社会貢献の意欲に燃える若者を受け入れたいと思っております。

　皆さんには、後輩達によき手本となるような奨学生生活を送って頂きたいと思っております。

奨学会の扉はいつも開けております。なんでも気軽にお問合せ下さい。

当奨学会は今年もみなさんが安心して勉学や研究に邁進できるよう応援致します。

本年が皆さんにとって実りある一年でありますことを期待しております。